

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

10

October
2019

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

やまがた



第47回 青年経営者全国交流会 in 熊本



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2019年度スローガン

備えよう、次のステージへ

～ポスト2020年～

火の国に集いしわさもんよ、 富国有徳の体現者たれ！



9月12～13日、中同協第47回青年経営者全国交流会が熊本で開催されました。全国から1,500名以上が参加し、山形からは6名が参加しました。

参加された方々の報告が寄せられましたので紹介します。

(株)ベーカリー中村屋 代表取締役 志田 清志

・分科会「自ら挑戦する社員が育った理由」

～「バカ社長」が気付いた経営感～

東京魚類容器(株)代表取締役 原 周作氏

横領、労働争議、社員が鬱で退職などがあり、経営指針成文化セミナーに参加したが空回り、陰で「バカ社長」と言われる。学んだのは、一番は会社の存在意義を社員に伝える事。次にやり方、在り方が確立してくると、それを基に社員が考え行動するようになる。そのためには長い時間と根気がある。社員を巻き込んで方針の決定や見直しをしており、採用にも社員を巻き込み主体性を持たせている。

叱っても怒鳴ってもいいという環境を野放しにすると、何も言えない社員が育ち、鬱になりいつか辞めていく。会社の存続さえも危うくなる。その前に、何故そうしなければならないのかをきちんと教える仕組みがある。「人を生かす経営(旧版)」のP38「働いている人にこの会社はつまらないなあ、面白くないなあ、嫌で嫌でしょうがないなあと思われるなら辞めた方が良い(中略)小さくてもこの会社はいい会社だ、働きがいがあるなあ」と思われることが大切。社長と社員でやりたい事は違うので、話し合いながら前に進める。すると結果を求める人が育ってくる。

他社で成功している事をそのまま使わず、自社の現状分析と会社の規模や業種を照らし合わせる事が重要である。

・記念講演「幸せの企画術」

こやまくんどう
小山薫堂氏

もったいないを、アイデアプラスして価値を造る。新しいこと!! 楽しいこと!! 誰かを幸せにできること!! 幸せは、探すものでもなく気づくもの!! くまモンは熊本サブライズの付随の産物!!

・特別報告「もう一歩前え」

～思考を広く深くし実践と行動を～

日本ジャバラ(株) 代表取締役 田中信吾氏

10人で売上10億、利益1億のA社と、100人で売上10億、利益1億のB社はどちらが良い会社か? 同友会理念に照らせば、地域に根差し雇用を生むB社。同友会の活動の中で全てが正しいと思わない方が良い。今がベターであってベストではない。どうせやるなら同友会に名を残せるくらいやった方が良い。社長自身が心に燃えるもの、心に情熱があるうちは退いてはならない。

今回青年部副部長斎藤源氏、大久保氏が参加して頂いて本当にうれしいです。また来年、次はさらに大勢で名古屋へ。参加していると以前お会いした方々にも会え、情報交換の場にもなり、お互い切磋琢磨しなければと自分を奮い立たせる場でもあります。

㈱オネテック 常務取締役 斎藤 源

去る9月12日・13日の2日間にわたり、熊本市で開催された青年経営者全国交流会に参加しました。まず、熊本の暑さにびっくりしながらも会場に着き、さっそく分科会がスタート。

私が参加したのは第7分科会「ないものを創り、育てる哲学」というテーマで兵庫同友会から参加したPORT STYLE㈱の水木秀行社長の報告を聞きました。アパレル市場が成熟する中で、帽子専門店のチェーン展開に取り組んでおり、2005年の設立から約14年で年商14億円に大きく成長しているとのことでした。様々なトライ＆エラーを繰り返しながら成長してきた歴史や、帽子を被らない人が帽子を被るようになることによって市場を創造したいと語る姿に、大きな刺激を受けました。グループ討論では

地域も業種もバラバラの会社と共に「これからどうやって市場を創造していくか」考え、各社の取組発表を通して議論が深まりました。

2日目の記念講演ではいよいよ著名なクリエイターの小山薫堂さんが登場です！“くまもん”誕生のエピソードはもちろん、幅広いジャンルにわたる仕事ぶりに圧倒されました。終盤には、様々な芸術家との交流を通して「200年後・300年後に価値が残る仕事をしたいと思うようになった」との話に感動し、これから永続する企業作りに邁進する青年経営者の思いに通じるものがあると感じました。また、共に山形同友会から参加した皆さまとは普段と違う一面を発見でき大いに交流できました。ありがとうございました。

㈱大久保硝子店 代表取締役副社長 大久保 徳朗

同友会入会4年目にて初めて、第47回青年経営者全国交流会in熊本に参加して参りました。参加した理由としては、今年山形にて青年部が発足したこと、中同協青年部連絡会の「2030年VISION」プロジェクトに参加していることでした。

今回は、第1分科会に参加しました。「青年部活動と企業経営は不利一体」というテーマで、この分科会に参加した理由は、VISIONとは何か？また、会社では経営者であります、このプロジェクトではどちらかと言うと社員(メンバー)の立ち位置なので、リーダーの想いを聞くために参加しました。その中で、「考え方や地域も違う中で、何故この2030年VISIONが必要なのか？何故この組織が必要なのか？熱量を持って説明する意義がリーダーにはある」という話があり、やはりこの「何故」やるのかを丁寧に説明されると、メンバーの私としても「よしやろう！」とテンションが上がり、またリーダーとしてのあり方を再確認させて頂きました。また、VISIONとは「引っ張られるもの、こうになりたい、心のよりどころ」であるべきとの意見もあり、改め

て自社のVISIONにもヒントを頂きました。

また全体を通して、最も感銘を受けたのは、兵庫同友会の田中最高顧問のお話の中で、「自分で自分の強い意志を継続すること、これが経営だ」と、こうありたい、あるべきだと意思を強く持ち、より以上を目指して、継続していくことで「志」になる。常に問いを持ち続けられる経営者、時代に合わせて変化できる経営者になる覚悟を強く持ちました。最後に、中野代表が、「この気づきを生かすも殺すも自分次第、来年青全交まで実践をスタートし、また報告し合おう」という言葉で終わりました。

より以上を目指して、自分も実践を繰り返して来年も青全交に参加出来る様に努力していきたいと思えます。



記念講演講師 小山薫堂氏とくまモン

第2回東北青年経営者フォーラムin福島 開催近づく！

山形同友会の佐藤淳青年部会長が報告者です！お申し込みはe.doyuか同友会事務局まで。

日時:2019年10月12日(土) 13:00開会(受付12:00~)

第1部(基調講演・グループ討論) 13:00~18:00

第2部(懇親会) 18:00~

会場:郡山商工会議所会館6階ホール

〒963-8005 福島県郡山市清水台1-3-8

報告者:(株)アルファ・コム

代表取締役社長 佐藤 淳氏
(山形同友会理事・青年部会長)

参加費:8,000円

(第1部のみご参加でも8,000円となります)

2019年度役員研修会

役員として同友会運動と企業経営は 不離一体を実践し語り部になろう



2019年度役員研修会が、8月27日と9月19日の二回にわたって行われました。今年度は同友会の役員としての役割を学び、同友会運動と企業経営を不離一体のものとして発展できる力を養うことをねらいとして開催され、延べ52名が参加しました。



第1講では、菅原茂秋代表理事が「同友会運動と企業経営は不離一体～同友会で何を学びどう実践してきたか～」と題して講義しました。

菅原氏は同友会に入会した2005年当時は会議

もまともにできない会社だったと振り返り、支部幹事になって同友会の活動をとおり議案書・議事録の作成やグループ討論を社内を導入することから始め、組織づくりに取り組んできたこと。また、経営指針づくりでは、多面的視点・長期的視野・根本的視点を学び、自社の存在意義を明確にし、物流最適化業のドメインにシフトしてきたこと。その後、青全交の執行委員長となってからは全国行事に参加し、「経済の担い手になる」という提起から物流の全体最適化をめざすようになったと実践を報告し、「同友会で学び続けなければ今の会社はなかった」と語りました。

そして、「増強は、会社経営でいえば売上を上げることを学んでいる。どうやったら出来るか、価値あるものをつくれるかを追求していくことで、経営者の責任とつながる」

とし、「『人を生かす経営』を会員、支部活動、委員会活動に置き換える。同友会を経営に置き換えるから不離一体がみえてくる」と強調。「全て経営につながっている。自社の経営だけをよくしようと思ってもならない。10年後の支部のあるべき姿を考える時期ではないか」と問題提起しました。

第2講では、中同協相談役幹事 鋤柄修氏が「同友会役員の役割と使命とは」と題して講義しました。

冒頭、鋤柄氏は「日本で人が辞めている。日本の終身雇用制度が崩れ、若者の価値観が変わり、情報を取って動いている。時代の変化に若者は敏感で、若い人から変わっていく。同友会で学んでいる企業は辞める人が少ない」と語った後、同友会の理念に触れ、学びをどう自社に翻訳し実践してきたかを報告しました。



その上で、同友会は仲間と手を取りあって一緒に学んで企業と地域をよくする運動であり、入会して役員になると学ぶチャンスが多くなるとし、自社で実践して語り部になること、トップはルールを敷き、ゴール(10年ビジョン)を決めるのが仕事であり、維持ではなく、発展を考えなければならぬと指摘しました。

さらに、学んでいない人が多い中でこれをチャンスと捉え、社員が力を発揮できる場をつくることを呼びかけました。そして、「中小企業家の生活習慣病を直すこと(公私混同をなくし経営者としての姿勢を正す)」「プレイングマネージャーから脱却すること(1日2時間勉強する時間をつくる)」を提起した上で、「同友会だけで経営者の学びは厳しい。学ぶことを習慣づけて経営者の資質であるK(感性)・D(度胸)・D(努力)・I(知識)を高めることが大切」と語りました。

最後に川合代表理事が「役員として同友会の理念を深く理解する。そして現状はどうなっているのかを確認し、そこからあるべき姿・目標に向かってどう取り組んでいくかです。同友会運動と経営は不離一体を実践し、語り部となって同友会運動を深めて、地域の活性化につなげていきましょう」と、まとめました。

山形支部

あなたのミッションは何ですか？

2019.10.21(月)18:30~21:00

場所:山形ビッグウイング 4階 研修室
山形市平久保100 ☎023-635-3100

報告者:(株)ヤマザワ 専務取締役 木村 孝氏

Part.1「経営者にとって1番大切なことは何か？」

「そのために、自分には何が必要か？」を、自分と自社に向き合って考える。

Part.2「精鋭チームによる、話題のQCを徹底解説！」

プロローグ(8/28)で語られた2つのストーリー。

ふたりの主人公が後に、経営者になったならどんな会社になったのか？というエピソードが語られます。このストーリーの中から、それぞれ自社(自分)に必要なこと・改めるべきことを見出し、ぜひ明日からの実践につなげていきましょう。

また、前回多数寄せられましたリクエストにお応えして、なんと…ヤマザワ QC 精鋭チームの皆さんにご登壇頂き、ヤマザワさんで実践中の QC を徹底解説して頂きます！大変貴重な時間になること間違い無し!!ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

山形支部【セミナー】

もはや同業者にヒントは存在しない!? 異業種から学ぶ成功の法則!!

2019.11.26(火)18:30~20:00

場所:山形テルサ 3階 研修室A
山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

講師:山形市売上増進支援センター「Y-biz」
プロジェクトマネージャー 尾上雄亮氏

平成から令和に変わった2019年。今まで以上にビジネスにおける潮流やトレンドの賞味期限サイクルが早くなってきている。今まで通りの事を今まで以上にやっても昨対の70%という現状において、自分の業界の中にはヒントを感じない時代。だからこそ異業種成功事例のセンスや仕組みについて学ぶことに意義と価値が際立っている。丁度Y-biz 発足から1年、山形市内外にて他業種の成功事例をけん引されている尾上さんが、「山形流」売上増進のヒントやボトルネックを「生の事例」や「考え方のヒント」を交えながら講演。「売上を増やしたいがアイデア不足で」という方へ全力でおすすすめ!

さくらんぼ支部

ストレスケアカウンセラーによる 職場のメンタルヘルスのお話

2019.10.30(水)18:30~21:00

場所:まなびあテラス 講座室
東根市中央南1-7-3

報告者:ハッピーマインドアカデミー 学園長
ストレスケアカウンセラー 菊地若奈氏

ストレス社会といわれる現代社会。働く人たちは特に職場の人間関係や長時間労働などによる精神的・肉体的ストレスでメンタルの不調や離職など大きな問題となっています。こうした中で、企業側が社員の心の健康を守るために気を配ることが重要になってきています。

今回の10月例会ではストレスケアカウンセラーの菊地若奈氏を迎え、職場における心の病を未然に防ぐためのポイントについて講演いただきます。ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

寒河江支部

新たな事業領域への挑戦 ~スモッチ、いではCOCCOにいたるまで~

2019.10.30(水)19:00~21:00

場所:寒河江市技術交流プラザ 2階 第2研修室
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者:(株)半澤鶏卵 代表取締役 半澤清彦氏

創業者である父から事業を承継した半澤社長は、主力であった鶏卵の卸売業にとどまらず、M&Aにより二つの養鶏場を譲受し、採卵養鶏に参入します。また、鶏卵の生産や卸に加えて、鶏卵加工品の製造・販売に取り組み、6次産業へ挑戦した結果、スモッチを誕生させ大ヒットさせました。さらに近年、カフェ事業に参入し、いではCOCCOをオープンしました。次々と新たな事業領域に挑戦する半澤社長ですが、その背景にあるのは危機感だといいます。

報告を基に、自社の事業領域について考え合います。ぜひご参加ください。

置賜支部

覚悟をもって明日をつくる

2019.10.25(金)18:30~21:00

場所:えくぼプラザ(赤湯公民館)
南陽市赤湯791-1 ☎0238-43-3466

報告者:(株)アスラ 代表取締役 石川晴久氏

平成25年、後継者として入社。当時の会社は売上が低迷し、活気の無い状態だった。このままではダメになると、直談判し平成27年に36歳で社長に就任するも、気持ちがあっても何をどうすればよいか分からず、覚悟を決めて同友会の「経営指針をつくる会」を受講。何のための経営なのか?どんな会社になりたいのか?を問われながら経営の目的とビジョンを明らかにした経営指針書を作成。しかし、社員の退職もあり計画どおりには進まない。社員が求めることとのギャップを痛感した石川氏は、社員の意見を吸い上げる場をつくり、課題を共有し社員と一緒に取り組むようにすると、会社は徐々に変わり始めます。そして今年、社名を「アスラ」に変更し、未来に向かって進む石川氏の報告に学び合います。お誘いあわせの上、ご参加ください。

庄内支部・新庄最上支部

10年先は自分たちで作っていくもの ~未来を見据えた企業づくり~

2019.10.23(水)18:30~21:00

場所:酒田市総合文化センター 4階 410・411号室
酒田市中央西町2-59 ☎0234-24-2991

報告者:寒河江物流(株) 代表取締役 後藤 智樹氏

2005年の庄内支部設立、2015年の新庄最上支部設立以来初となる2支部合同例会が開催されます!

報告者の後藤社長は2007年に同友会に入会し、すぐに経営指針文化セミナーを受講。その後も支部、委員会、全県行事等での学びを徹底的に経営に取り入れてきました。共同求人活動にも参加しながら、新卒定期採用、教育、定着を一体として推進、強靱な組織作りに取り組み、「継続することで成果が表れた」と語ります。そして今年、新しい大型物流倉庫が稼働。配送に留まらない、更なる物流の価値を提案しています。

「10年先は自分たちで作っていくもの」と語る後藤社長が、同友会で「TTP(徹底的にバカる)」し経営に生かしてきた実践に学びあいます。記念すべき合同例会、同友会会員以外の方々もぜひご参加下さい。あなたの参加をお待ちしています!

第5回理事会報告

◆日時:2019年9月11日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形同友会事務局 ◆議長:伊藤誠氏
◆出席者:(敬称略):川合、赤塚、阿部秀、伊藤、越前屋、大泉、小川、笹林、佐藤栄(skype)、佐藤啓、庄司、田中、玉津、松岡、事務局 矢作、後藤、芳賀

■開会挨拶

川合代表理事から「年度の半分が過ぎようとしている。各支部、委員会、部会が立てた目標の進捗はどうか振り返る時期となったのでよろしく願いたい。また学習会でも学びを深める理事会にしたい」とあいさつがありました。

■学習会

大泉拓也氏より花き業界の動向の説明と、それに対する自社の取り組みについて報告がありました。その後、質疑応答が行われました。

次回報告者:小川大輔氏

■報告事項

- 第6回経営労働問題全国交流会in岩手 8/29~30 4名参加
2019年度第1回中同協経営労働委員会 8/30
小川理事が、経営労働委員会としてしっかりと動いているか、ツールを活用できているかという話が多くあり、『労使見解を生かした経営指針書になっているかを今一度ご確認いただきたい』という問題提起が印象的で、また企業変革支援プログラムstep1の登録と、step2への活用の流れを作ること、『働く環境づくりの手引き』に基づいた経営指針作りを進めていただきたいと中同協から提言があったことを報告しました。
- 2019年度第1回中同協女性部連絡会 9/2~3 東京 1名参加
赤塚理事から資料読み上げによる報告があり、補足として「理事に抜擢されるためには活躍が認められる女性経営者であることが第一と感じた。女性経営者の成長という意味でも、山形同友会でも女性部の10年ビジョンを設定し「安全交に立候補できる女性部作り」を視野に入れ、第4次中期ビジョン作成を通じて今後の組織作り、役職継承を考えていきたい」と報告がありました。
- 第5回中同協共同求人・社員教育合同委員会 9/5 東京3名参加
2019年度第1回中同協共同求人委員会、社員教育委員会 9/6
佐藤理事から、合同委員会では中同協人を生かす経営推進協議会代表の加藤氏の報告から「人を生かす経営」の意味をさらに深く考え自社に取り入れる必要性と、社員の幸せに対する視点として人間らしく生きる事に向けて経営姿勢を変えていくという提起があり、共同求人委員会では、Jobwayの掲載情報は厳正な審査が不可欠になるということと、グループ討論を通しての各地の共同求人活動の交流から、山形も高校とのつながりの必要性を感じたと報告がありました。
続いて庄司理事が資料をもとに報告した後、補足として「合同委員会での加藤氏の報告に「環境の変化により売り上げがなくなる、永久的に安定する会社はない、と本気で思っているか?」をはじめとして、経営者に自問自答を求められ考えさせられた。また「三位一体の経営には時間がかかる」との話があり、時間をかけて取り組まなければならないと感じた」と報告がありました。
- 中同協・会員増強決起集会(8/22 東京)4名参加
阿部理事が壇上で菅原代表理事が488名達成を宣言したことを報告後、「数を増やすだけが目的ではないが、同友会の良さを体現する人が増えているかどうか会勢に表れる。地域がなくなる、地域の企業がなくなるということの危険性があるから増強が必要という意義が共有できているかについてグループ討論で討議し、同友会理念を共有できる仲間が増えることで地域が活性化すると信じ、取り組んでいきたい」と報告しました。
- 2020新春交流会について
矢作事務局長より下記の開催要項が決定したと報告がありました。
●日時:2020年1月28日(火) ●会場:グランドホクヨウ
●講師:三承工業(株) 代表取締役 西岡徹人氏
- 2019年度8月月度決算報告 (矢作事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 入会2名 退会1名 9/11現在420名

■討議事項

議題1:組織目標達成に向けて

川合代表理事より「例会へのゲスト参加者を増やす取り組み」「入会対象者リストを増やすために例会や企業訪問を通じて会員さんへ紹介を依頼する」取り組みが提案され、承認されました。その後、各支部の組織目標達成に向けての取り組み状況を確認しました。

議題2:2019役員研修会について

川合代表理事が、「役員が同友会の本当の意義を知らなければ勤めることも

できないし説得力もない。本当の同友会の良さを知ってもらうことが重要。役員研修会は1回で終わりではない。新しい情報をつかみニーズに合った新しい形をつくっていくのが理事としての役目。そこから経営者としての学びを身につけるのが理事としての大きなメリット。理事会に参加し続け、理事の在り方を深掘りしていただきたい」と述べ、参加を呼びかけました。次に、グループ長の確認が行われ、グループ討論テーマ「同友会運動と不離一体として経営していますか?これから役員として、どう行動していきますか?」が承認されました。

議題3:全県での学習会について

1)情勢学習会(スモールサンゼミ共催)のまとめ

川合代表理事より、山口先生の講義では根拠を含めた情勢認識と、技術革新により大きく変化する時代であることを認識し、経営者の力量としては「読む力」「問う力」「つなぐ力」「感じる力」が求められ、「人の多様性」と「市場の多様性」がポイントになってくるということが提起されたまとめが報告されました。

2)技術革新の学習会

川合代表理事より10月28日に開催される「人とロボットの共生社会」の説明と、各支部での積極的な参加呼びかけが要請され、承認されました。

議題4:第16回経営研究集会について

実行委員長の阿部理事より提案があり、下記の開催要項が決まりました。

- 日時:2019年11月21日(木)14:00~20:00
- 会場:ホテルメトロポリタン山形
- 会費:参加費2,000円 懇親会費6,000円
- 講師:榎EVENTOS 代表取締役 川中英章氏

議題5:中同協役員研修会の取り組みについて

川合代表理事より参加呼びかけがありました。

議題6:他団体などからの依頼について

- ・一般財団法人山形県情報産業協会より「やまがたITソリューションExpo2019」への後援の依頼が承認されました。
- ・山形大学より「ライアンスネットワーク研修会(テーマ:インターンシップ)」への講師派遣の依頼があり、松岡共同求人副委員長が担当することが承認されました。
- ・サクラマスプロジェクト主催「第3回サクラマスミーティング(10/17開催)」への後援の依頼が承認されました。
- ・山形県男女子育て参画課「イクボストップセミナー」への後援の依頼が承認されました。

■その他

1)今後の予定

第47回青年経営者全国交流会	9月12日(木)~13日(金)熊本
役員研修会 第2講	9月19日(木)13:00~TISカンファレンスセンター
山形大学学内合同企業説明会	9月24日(火)午後 山形大学
山形大学成果報告会	9月27日(金)午後 山形大学
新入社員フォローアップ研修	10月3日(木)9:00~山形ビッグウイング
中同協役員研修会	10月3日(木)~4日(金)秋田
第24期経営指針をつくる会第5講	10月5日(土)9:00~TISカンファレンスセンター
中同協第2回幹事会	10月8日(火)13:00~東京
第2回東北青年経営者フォーラム	10月12日(土)13:00~郡山
中小企業憲章・条例学習会	10月18日(金)13:00~TISカンファレンスセンター
幹部社員研修 第3講	10月24日(木)18:00~山形ビッグウイング
技術革新学習会	10月28日(月)18:00~TISカンファレンスセンター

2)次回理事会

- 日時:10月15日(火)15:00~17:00
- 会場:同友会事務局

11月理事会 11月11日(月) 12月理事会 12月11日(水)

■開会挨拶

玉津理事が川合代表理事の「各支部、委員会、部会がこれまでを振り返る時期だ」との開会挨拶に触れ、「これだけ行事もあるので、現在進行形の取り組みが必要だと実感した。それぞれが互いに学びあい、深めていきましょう」と述べました。

社名変更

- (株)南陽総建 ⇒ (株)アスロ
代表取締役 石川晴久氏(置賜支部)

社名・役職変更

- 長岡内装 代表 ⇒ (株)長岡内装
代表取締役 長岡秀和氏(山形支部)

新会員紹介

◆ ^{ほんま たかお} **本間 隆生氏**
山形酸素(株) 代表取締役
一般高圧ガスの卸・小売業
山形支部

◆ ^{ほらだ ゆりこ} **原田 由理子氏**
(株)リリー 代表取締役
美容業
さくらんぼ支部

同友やまがた10月号(2019年10月1日発行/通巻319号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL: <http://yamagata.doyu.jp/> E-mail: info@yamagata-doyu.jp